



平成23年4月19日

< 『時代の中の異文化交流』 刊行 >

< 概要 >

岡山大学文学部三十周年事業として平成22年度に開催した文化講演会シリーズ「時代の中の異文化交流」の内容をまとめた報告書が3月末に刊行された。

このシリーズでは6回の講演会が催され、日本、韓国、フランス、ドイツの研究者が講演し、さまざまな視点から日本文化について、また異文化との出会い、交流について論じた。

文学部は平成22年度が三十周年にあたり、これを記念して、昨年10月から今年3月まで、国内外の研究者を招いて「時代の中の異文化交流」と題する講演会シリーズを開催しました。

この文化講演会シリーズでは、講師として国内外の日本文化、日本文学、日本史の研究者が招かれました。フランス、韓国、ドイツの研究者の講演もすべて日本語で行われ、聴講された一般市民の方々にも親しみやすいものとなりました。

講演の内容は、過去（安土桃山時代）から現在に至るまでの日本文化と異文化との出会いと交流をめぐるもので、実に多様な視点から日本文化の特質が掘り下げられました。講演の後の質疑応答も活発で、講演会場そのものが異文化交流の場となりました。

このほど刊行された報告書「時代の中の異文化交流」には、講演内容とともに、配付された資料、また、講演後の質疑応答も収録されており、全352頁に及びます。ここにはまたドイツのボーフム大学に派遣された2名の文学部教員がボーフム大学日本研究学科で行ったドイツ語による講演原稿も入っています。これはボーフム大学との新たな交流を目指した企画でした。平成22年度は文学部にとって活発な国際交流事業を展開できた年となりました。

岡山大学文学部 金関 猛（かなせき たけし）

TEL 086-251-7456

FAX 086-251-7456